

星の広場

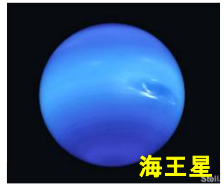
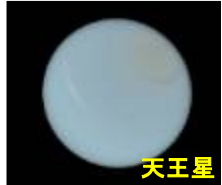
〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



10月の観望天体

天王星と海王星、アンドロメダ大銀河

天王星は太陽系7番目の惑星です。太陽から約29億km離れたところを約84年かけて回っています。大きさは地球の約4倍で太陽系の中では3番目です。



海王星は太陽から約45億km離れたところを約165年で回る太陽系8番目の惑星です。天王星と海王星はガスと氷からできている巨大氷惑星です。大気中のメタンが赤い光を吸収するため望遠鏡では青色に見えます。



アンドロメダ大銀河は、私たちの住む天の川銀河の隣の銀河です。地球から約230万光年の距離にあり、星の数は2000億個以上といわれています。天の川銀河に近づきつつあり、数十億年後には天の川銀河と衝突するのではないかと考えられています。

10月の夜間観望会 日曜日 18:30~19:30

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
※小中学生は保護者と一緒に来てください。
※天候や機器の整備等で中止する場合があります。
スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
6日	上弦の月、土星、海王星 など 海王星は太陽系で最も外側を回るガスと氷の惑星。青色をしています。
13日	月、土星、天王星、海王星 など 天王星は太陽系の中で木星、土星に次ぎ、3番目に大きい惑星です。
20日	M31(アンドロメダ大銀河)、M52、天王星、海王星 など M31は銀河系の隣の銀河。M52は星がたくさん集まった散開星団です。
27日	M31(アンドロメダ大銀河)、海王星、天王星、M15 など M15はたくさんの星が集まった球状星団です。

10月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をHαフィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しましょう。

火・土・日曜日、祝日
26日(土)・27日(日)は休み

10:00~12:00
13:00~15:00



10月の星空

土星・天王星・海王星を見よう!

2019年10月13日 午後7時30分

10月の惑星

- 水星 夕方の西の空
- 金星 夕方の西の空
- 火星 明け方の東の空
- 木星 夕方の西の空
- 土星 宵の西の空
- 天王星 宵の東の空
- 海王星 宵の南の空

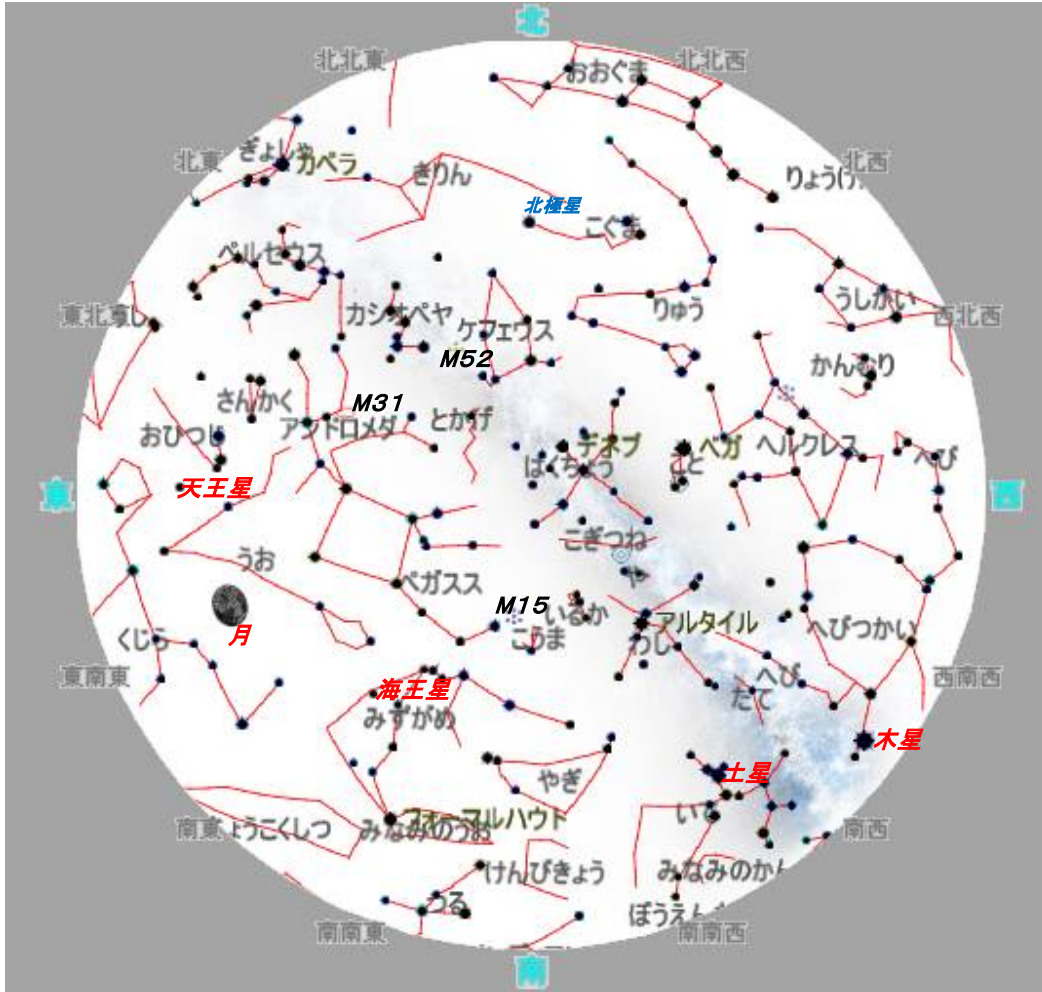
水星は夕方の西の空でしだいに高度を上げています。10月20日に東方最大離角となります。

金星は夕方の西空で「宵の明星」として見られるようになりました。

木星は宵空ではすっかり西に傾き、観望は難しくなりました。

土星は10月10日に東矩となります。宵の西空低くなりましたが、10月前半まで観望できます。もう一度、美しい姿を見ておきましょう。

海王星と天王星が宵の空で高度を上げ、見ごろを迎えます。望遠鏡で青緑色の丸い姿を観察しましょう。



日	曜	月齢	10月の主な天文現象
1	火	2.7	 <p>十三夜</p>
2	水	3.7	
3	木	4.7	
4	金	5.7	月が木星に接近
5	土	6.7	
6	日	7.7	上弦の月が土星に接近
7	月	8.7	
8	火	9.7	(寒露)
9	水	10.7	10月りゅう座流星群極大
10	木	11.7	土星が東矩
11	金	12.7	十三夜(後の月)
12	土	13.7	
13	日	14.7	
14	月	15.7	(体育の日) 満月
15	火	16.7	
16	水	17.7	

9日 10月りゅう座流星群が極大
母天体はジャコビニ・チンナー彗星です。極大は9日の午後4時ごろの予想です。夜は月明かりがあり、観望しにくくなります。

日	曜	月齢	10月の主な天文現象
17	木	18.7	 <p>土星</p>
18	金	19.7	
19	土	20.7	
20	日	21.7	水星が東方最大離角
21	月	22.7	下弦の月
22	火	23.7	(即位礼正殿の儀) オリオン座流星群極大
23	水	24.7	
24	木	25.7	(霜降)
25	金	26.7	
26	土	27.7	
27	日	28.7	
28	月	0.3	新月 天王星が衝
29	火	1.3	
30	水	2.3	
31	木	3.3	月が木星に接近

22日 オリオン座流星群が極大
オリオン座流星群は速度が速く明るい流星や光の痕跡を見やすい流星群です。極大は22日の午前9時ごろ。月は夜遅く上ってきます。月が昇る前に観察しましょう。